

「あの人にしかできない」作業を、「この通りやればできる」作業に。

盤製造スキルレス・ソリューション

盤製造の現場で、いま起きていること

これまで盤製造の品質は、熟練者の豊富な知見によって支えられてきました。しかし近年、熟練者の引退に採用難が重なり、できる人へ仕事が集中。教育にまで手が回らず人を増やすこともできない、そんな現場が増えています。

盤製造スキルレス・ソリューションとは

熟練者の作業ノウハウをデータ化し、盤製造支援システム「WIRE CAM DX」を通して、配線・加工などの最適手順を現場に展開。経験が浅い人でも、モニターに表示された通りに作業するだけで、熟練技を再現できる仕組みです。

BEFORE



AFTER



導入メリット

- ① 作業標準化：熟練ノウハウを共有し再現可能に・脱属人化
- ② 生産性向上：未熟練者の即戦力化、工数削減・高品質化
- ③ 原価低減：最適ルート設計による廃棄部材の大幅削減

熟練者に集中しがちな負荷を平準化、技術継承の問題も解決します。

Powered by 株式会社ECADソリューションズ

導入事例①

株式会社明都パネル様
(制御盤/受配電盤メーカー)

配線作業 = 約20時間短縮
電線廃棄 = 30~40%削減



- 配線作業は知識と経験が必要なため、教えるのが難しくベテランに依存。
- 手作業による手間と時間、品質のバラつきや電線ロスも課題となっていた。

BEFORE



- 「WIRE CAM DX」で配線ルートが視覚化され、初心者でも作業が可能に。作業時間も80時間→60時間に短縮。
- 製造工程を分業化し、最適な人員配置で品質も向上。電線廃棄が30~40%削減。

AFTER



導入事例②

株式会社大日製作所様
(制御盤/受配電盤メーカー)

教育 = 約3年→約6カ月
全体工数 = 約15%削減



- 配線熟練者の高齢化とリタイヤにより人材不足が深刻化。
- 新人が入っても教育に時間がかかり、仕上がりに大きな差があったため、将来の安定的な製造に課題。

BEFORE



- 「WIRE CAM DX」でノウハウをデータ化・標準化により、教育期間が大幅に短縮され、非熟練者も即戦力に。
- 設計から製造への連携により全体工数を約15%削減。品質と技術力も向上。

AFTER



導入事例③

株式会社アサヒ様
(制御盤/医療機器メーカー)

実稼働までの期間 = 約1カ月
人材確保 = 10人新規採用



- 組立・配線作業はベテラン依存。しかも作業員により配線ルートが違っていた。
- 電線は長めに用意し、配線時に余った部分を切って詰めていたため無駄が発生していた。

BEFORE



- 「WIRE CAM DX」の作業指示は未経験者でも対応できるため、10人増員。配線ルートも統一され改造にもデータ活用。
- 電線加工を機械化し効率化。ピッタリの長さで準備できるため、使用料を約30%削減。

AFTER



[発行元]

東芝産業機器システム株式会社
戦略商品統括部

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34



← これまでの「お役立ち情報」は
↓ アーカイブサイトよりご覧ください
<https://www.toshiba-tips.co.jp/news/useful/>

詳細は下記メールアドレスまで、「資料希望」とのみ記載し送信してください

●商品カタログ、●導入事例、●中長期の働き方改革に役立つPDFをお送りします！

✉ TIPS-Oyakudachi@ml.toshiba.co.jp / ☎ 044-520-0830

お役立ち情報 事務局：西田

3K作業の自動化、熱中症対策や暑熱対策、ヒュームや粉じんなどの健康リスク対策による現場の環境改善も、上記までお問合せください。

